

# こうとう民報

2015年8月号 129

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 とうとう民報編集委員会  
責任者 猪又 武夫  
住所 江東区東陽2-3-5-203  
電話3648-5155 FAX3648-5137  
ホームページ  
http://www.koto-minpo.jp/

# 空前の草の根集会・パレード



## 2015 原水爆禁止世界大会



【寄稿】畠中ひろし  
8月9日への3日間、江東代表団15名が長崎の原水禁世界大会に参加しました。被爆70年の節目の世界大会。折しも防衛相の、核兵器輸送は可能、との参院答弁に、戦争法案・核兵器反対の声が全国で沸き立つ中での開催です。

核不拡散条約再検討会議では、核兵器・軍備抑制への民主主義、法の支配、抑止力否定、紛争の平和的解決の4つの流れが、世界的にも確かなものとなりました。今年度の原水禁大会は、これに逆流する安倍政権の戦争法案、米軍基地拡大、原発再稼働の反国民、反社会性が焦点。怒りの大会参加者600人の、安倍政権打倒の叫びが、熱く大きくなりました。戦争法案は原爆米軍基地反対！原案しかない！

7月25日、猿江公園で「戦争法案ぶっ潰せ江東行動」を超える空前の参加でした。パレードに先立つ集会で主催者を代表して、宇都宮健児代表呼びかけ人（元日弁連会長）が挨拶し、その冒頭で、来年度から江東区の中学生が使用する教科書について、侵略戦争を肯定する育鵬社・自由社の歴史・公民教科書が不採用になったことが報告され拍手に包まれました。

「戦争法案は、違憲法案で廃案しかない。安倍政権を倒し、退陣に追い込もう」と呼びかけました。

続く参加者によるリレートークでは、11組13名がそれぞれの思いや廃案への決意を語りました。最初に挨拶に立ったあざ上野議員は「国会での論戦と世論が与党を追い込んできている。東部法律事務所弁護士の、法案の廃案をめざす砂町地域の住民らが、東砂6丁目町の会」の発足集会が開かれました。

元労組役員らに加えて、複数の団地自治会役員や元自治会長、元学校長らが呼びかけ人に名前を連ね、70年前の東京大空襲の被害の記憶を受け継ぐ地域の住民として、戦争法案に反対の声を上げました。

参議院での法案審議をにらみ、廃案を求める地域でのパレード、衆参両院議長宛の請願署名を集める行動計画などを決めました。

## 戦争法案反対 砂町の会結成

7月25日午前には、戦争法案の廃案をめざす砂町地域の住民らが、東砂6丁目町の会」の発足集会が開かれました。

## 江東から世論の力で戦争法案の廃案を

### 「戦争法案ぶっ潰せ」江東実行委員会

8月22日16時から2時間にわたり「東京大空襲を体験した江東区民は戦争法案に反対します」の横断幕や幟を立てた豊洲のビバホーム前に、延べ50人が参加し、保育士さんたちの歌や踊りを交えて戦争法案の廃案を呼びかける署名・宣伝活動を展開しました。

リレートークではあざ上野議員や大沢元都議の連帯の挨拶や区職、教職員、石川島やきかんし印刷の労働者、沖繩の基地反対に取り組む区民など、次々とマイクを握り語りかけました。



集会后、猿江公園での行動にこぞって参加しました。

弾と14日の国会30万人集会への参加を訴えました



## 潮騒

立秋を過ぎてても記録的な炎暑が続きました。戦争で中断されて97回となる百年目の高校野球の熱戦や夏祭りが始まりました。14日、終戦記念日前日の安倍談話。村山談話の3倍近い長文の冒頭から首相の歪んだ歴史認識が露呈されています。明治憲法は半世紀にわたる戦争に導いた天皇主権の「欽定憲法」。日露戦争により日本が韓国を領土としたことは否定できない事実です。さらに二次にわたる世界大戦による悲惨な戦禍についても述べていますが「痛切な反省と心からのお詫び」は歴代内閣の立場というだけで、侵略戦争の謝罪には踏み込まない姿勢を示しました。「積極的平和主義」とは、今も1兆5千億円を投入して核弾頭を開発しているアメリカの核の傘の下で、アメリカの戦争に参戦する「戦争法案」の強行です。「兵站」を「後方支援」、「武力行使」を「武器使用」などのごまかしは次々と暴露されています。首相周辺から「法の安定性は無関係」とか「戦争はイヤとは自己中」などの本音が洩れています。SEALDSなど学生たちの自主的な行動こそ日本の希望です。終戦記念日を迎え、戦争体験者の生々しい記憶が放映されます。

7月25日には、亀戸コースを歩き通しました。隊列の「ワッショイ」の語源は「和を背負う」と言われていますが、沿道の人々には「平和と一緒に」と響いたでしょう。

江東区中学校教科書採択

育鵬社・自由社は不採択

歴史・「教育出版」、公民・「東京書籍」

7月24日、江東教育委員会第7回定例会が教育センターで開催され、62人の傍聴希望者から抽選で20人が見守るなか、歴史、公民教科書が採択されました。

各審査の冒頭、2人の新任の委員から育鵬社・自由社を評価する意見が述べられて傍聴席に緊張が走りましたが、委員長と教育長が指導要領の国際理解などの規定や生徒が学びやすく、指導しやすい資料の充実などの理由をあげ、歴史は「教育出版」、公民は「東京書籍」と、前回と同じ出版社の教科書を推せんする提案がされる、全員一致で決定されました。

この結果について、8月12日の「考える会」世話人会では、「コメント(要旨)をまとめました。「区教委が来年度から使用する中学校社会科教科書として複数の委員より、育鵬社・自由社を評価する意見が出された。このことは、当初より懸念されていたことである」

前日に都教委が再び育鵬社の採択を決定したものの、その後「教育再生首長会議」に区長が加盟している品川区や、前回は育鵬社を採択した太田区でも不採択になるなど、江東区の結果が先鞭をつけたと歓迎されました。

第一次世界大戦と江東工業地帯



藤倉電線

概説 江東の歴史 (47)

大戦前の日本経済は、輸入超過と借金返済に追われ、事業不振による解雇で争議がおこっていました。1914(大正3)年、欧州中心の大戦勃発に乘じ、アジア市場への進出と連合国からの軍需品注文が加わり、日本経済は空前の活況に湧きました。

江東地区でも、製鋼、機械、化学などの重化学工業がさかんになります。1912(大正元)年の日本鑄鋼(大島7丁目)に加え、17年に大島製鋼=後の日曹製鋼(同4丁目)と東京鋼材=後の三菱鋼材(同6丁目)、21年に砂町に宮製鋼所=後のトピー工業、23年に高砂鉄工大島工場(同3丁目)が設立。機械工業では、佃島機械製作所が1916年に亀戸に工場を移し、後に日立製作所になります。

石川島造船所は造船ブームで、3200トン級3隻を米国に輸出、1910年に深川分工場に貨物自動車(後のいすゞ自動車)の製造を始めます。1902(明治35)年の資本36万円を17年には500万円まで伸ばしました。

千駄ヶ谷にあった藤倉電線は、1923(大正12)年に木場1丁目に移り、敷地14万平方メートルの大工場を電線、ケーブルなどを製造しました。

亀戸、砂町には、浜田精機、田原製作所、東京亜鉛鍍金、松尾橋梁など多くの工場が作られます。

化学工業では、大島7丁目の中川沿いの日東化学で、硫酸や過燐酸石灰などの化学肥料が生産されました。

南葛飾郡の人口の3分の1を占める亀戸、大島、砂町は、野菜や魚介類を供給する地域から、工場が林立する工業地帯へ移行しました。

"小工場に酸素溶接のひらめき立ち 砂町四十町夜ならんとす"

<土屋文明歌集「城東区」1933(大正8)年>

大戦中、材木商の長谷川満次郎など「成金」が生まれる一方、物価高や過酷な条件で苦しむ民衆や労働者は学習や実践で成長。労働運動の組織者に、日立亀戸の戸沢仁三郎、石川島深川に河田賢治、横石信一らがいます。

原水禁世界大会、母親大会応援

2015 平和フェスタ



当時の教科書を示し戦争体験を話す斎藤絹子さん

7月19日、新婦人江東支部の主催で「原水禁世界大会、母親大会応援」のバザーなどの「平和フェスタ」が小松橋区民館で開かれました。

中村美智子会長は「戦争法案が成立するといつても戦争できる国になり大変なことになる。江東区の教科書問題では、私たちの運動で、育鵬社の教科書を不採択させるなどの成果を上げた。原水禁大会、母親大会を応援しましょう」と挨拶しました。

満州で終戦を迎えた道祖尾朋子さんは引揚げ直前に生まれ、お母さんから聞いた当時の様子を話されました。終戦から2年後に引き揚げましたが、当時を知る人から「良く生きてこられたね。栄養失調で泣くことも覆返りも出来なかったのに、よく大きくなったね」と驚かれました。混乱のなかを帰ることができたのは、父母や姉がいたからこそだと振り返ります。



新聞紙のカラー部分を指先でちぎってつくる「新聞ちぎり絵展」が江東文化センターの2階ロビーで、7月24日、26日の3日間にわたり開催されました。

新婦人江東たつみ班

「新聞ちぎり絵展」を開催



4年前、東日本大震災の津波による原発事故で、やむなく福島県浪江町から江東区に避難している出品者のひとり、岩野芳子さんは「寂しくて、悲しくて、つらい毎日でしたが、この絵手紙を作ることを知ってから、とても勇気づけられ、元気ができました」と語っていました。

「体験コーナー」もあり、初めての人はまず「葉っぱ」を描くことから実際に体験し「楽しかった!」と感想。猛暑のなかでしたが、3日間でのべ200名を超える人が来場しました。

- 9月5日(日)
○戦争法案が潰せ江東パレード・17時 東陽公園、門前仲町
○戦争法案反対大島の会総集會 18時 総合区民センター
9月6日(月)9時30分
○団地の茶會 南砂2丁目団地
9月6日(月)13時
○亀戸事件追悼會 赤門浄心寺
9月26日(土)16時
○地域労組「つと」第7回定期大会
東京十建江東支部会館